

## 小学校高学年の部

### 優良賞

#### 「めんそーれ宝の島、琉球へ」

浦添市立浦添小学校 4年生 濱元 志帆

私は、世界遺産の「琉球王国のグスクおよびかんれんいさんぐん」について調べました。

遠い昔、沖縄は首里城の国王を中心とした一つの国だったそうです。

かん光パンフレットで世界遺産のことを知り、歴史が深そうなのでくわしく知りたいと思いました。その中でも、首里城の入場客数は、198万人で、全国のお城の入場客数ではトップ三に入るほどの人気のかん光スポットです。なぜこんなにかん光客がいくのか知りたくて、実際に首里城に調べに行きました。

それともう一ヶ所、古い石づみがのこっている中城城あとに行きました。

首里城公園では、はたらいている人たちが昔の沖縄の着物を身にまとい、通りかかった人に、「はいさい」「はいたい」と、声をかけ、お客さんは、ふだんあまり言われないうあいさつにととてもよろこんでいました。

また、クイズやスタンプラリーがあり、お客さんは、楽しみながら琉球の歴史を学ぶことができるので、首里城のかん光客が多いのだと思いました。

首里城に行ってみるとわかったことは、9つの門があり、それぞれの門には、名前とやくわりがあることです。

その中でも私が気になった門は、ろうこく門です。ろうこく門のやくわりは、水時計を使って時間を計ることです。

次に中城城あとでは、ガイドさんが歩きながら、琉球の歴史やお城の作りを教えてくださいました。

中城城あとからは、遠くに勝連じょうあとが見えました。昔、中城城にはごさまる、勝連城にはあまわりという強い男がいて、その二人はたたかい、二人ともほろんでしまいました。それで、琉球の王様は、首里城の王様一人になったそうです。

ガイドの人が、世界遺産は、一つ一つのたてもものやいせきではなく、沖縄の人たちが昔、琉球王国の国民であった歴史と文化、神様を信じる気持ちだと教えてくださいました。

私も琉球の歴史をほこりに思いました。

この勉強を通して、昔、沖縄は日本とはべつの一つの国であったことがわかりました。

だからこそ、沖縄にはどくとく文化や習かんがあり、それがみ力でたくさ

んの人が沖縄に来んだと思います。

私はあまり沖縄のことをこれまでは、知らなかったのでこれからも調べていきたいです。

そして学んだことを多くの人に伝えることが私のできることだと思います。

沖縄のみ力が多くの人に伝われば、かんこう客がふえると思います。

私はかん光に来る人に言いたいです。

「めんそーれ宝の島、琉球へ！！」